

The service club to the YMCA



THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

HP QR コード



“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2025年 9月会報 第441号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Edward Ong (シンガポール)

主 題 信念、愛、行動 Faith,Love,Action

標 語 共に、より強く Together Stronger

アジア太平洋地域会長(AP) 田上 正(熊本むさし)

主 題 信念と愛を持って行動しよう

Act now with faith and Love!

標 語 YMCA,ユースと共に地域社会に貢献しよう

Contribute to local society together with YMCA and Youth!

西日本区理事(RD) 中井信一(奈良)

主 題 世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!

Let's enjoy the YYY life together with our friends
all over the world!!

標 語 あなたに寄り添う。あなたを忘れない。

Stay with you. Never forget you.

六甲部長(DG) 柳 敏晴(神戸西)

主 題 温故知新 Visiting Old, Learning New!

標 語 六甲部にウエルビーイング!

We Rokkou-bu aims for wellbeing!

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 地域で見つかる!繋がる!ワイズ活動!

2025年9月例会

日 時: 2025年 9月 10(水)18時30分

場 所: 宝塚市西公民館ホール

会 費: 1,500 円

ドライバー: 小林康男・真藤広子

開会点鐘 会長 多胡葉子

ワイズソング 「いざ立て」 全 員

聖書・祈祷 重松えみり

ゲスト・ビジター紹介 会長 多胡葉子

会 食

卓 話 「神戸 YMCA の今後の方針」

神戸 YMCA 総主事 小澤 昌甲氏

委員会報告

YMCA報告 担当主事 橋本 唯

誕生日のお祝い 会長 多胡葉子

ニコニコ・ファンド

閉会点鐘 会長 多胡葉子

西日本区 9月強調テーマ:EMC

楽しいクラブに人は集まる! 魅力あるクラブに人は集まる! 人が集まるからこそ大きな奉仕ができる! メンバー満足度を高めることが「会員増強」の鍵。各クラブにおける「メンバー満足度」を真剣に考える機会を作ろう。EMC 事業主任 久保田雅彦 (京都グローバル)

2025~2026 役 員	会長:多胡葉子 副会長:福田宏子 書記:若林成幸 会計:小林康男 監査:長尾 亘、風早寿郎 担当主事:橋本 唯 メネット連絡:小林貴美子 直前会長:長尾 亘
事業委員長	Yサ:武田寿子 CS環境:金岡幸宏 EMC:福田宏子 国際・交流:岡野泰和 広報・ブリテン:若林成幸
特別事業 委員長	TIFA/NGO:小林康男 ファンド:郡家 学、多胡葉子 市民クリスマス:若林成幸
国際交流主査	石田由美子

9月誕生日	1 石田由美子 15 橋本 唯 16 清水栄治 29 福田宏子
8月例会実績	会員在籍数(A) 17 名 例会出席総数(B) 19 名 (内ズーム1名) (内訳) 会員(C) 13 名 メネット・アソシエト 6名(内ズーム1名) ゲスト・ビジター 2名 メイクアップ(内数D) 0 名 会員出席率 C+D/A 64.7% 例会充足率 B/A 111.7%
8月実績 ここにこ ファンド	ニコニコ 2,000円(累計9,000円) タカラムネ 9,600円(累計 10,600円) 真菰茶 2,500円(累計 2,500円) その他 0円(累計 0円) 合 計 12,100円(累計 13,100円)

今月の聖句

「涙と共に種を蒔く者は 喜びの歌と共に刈り入れる。種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は 束ねた穂を背負い 喜びの歌をうたいながら帰ってくる」
旧約聖書・詩編126編5-6節

随想

最近、四季ではなく「春・夏・酷暑・秋・冬」と五季だという人も現れているようですが、今までの生活習慣で判断できず、「今は夏！ うーん、秋かな？」と迷うことが多いです。今年の実りが豊かでありますように。

もう14年ほど前の朝日新聞の「声」投書欄に次のような文章が載りました。

「先日、ある研修会に出席した時のこと、1人の出席者から驚くような事実を聞かされた。その方の近くの小学校では給食の時間、配膳が終わるとピーと笛の合図で『頂きます』を言わないまま食事が始まるというのだ。太鼓のドンの合図の教室もあるという。

こうなった理由は、給食費を徴収するようになった時、ある親から『お金を払っているのに頂きますと言うのはおかしい』とクレームがあったためという。こんな意見がまかり通ることにあきれ返った。こんな意見を言う親もおかしいし、このクレームに簡単に応じた学校側の対応もおかしい。

食前の『頂きます』、食後の『ごちそうさま』は、食事が頂けることに対する感謝である。お金を払うか払わないかには関係なく、言うのは当然だと思う。

お米は田おこしに始まり、苗代作り、草取り、稲刈り、脱穀など、何カ月もの長い月日と多くの工程を経て頂けると私は教わってきた。お膳にある食材の全ても同様に手間がかかっており、その全ての恵みに感謝しての言葉のはずではないだろうか。」(男性[山口県和木町 68]朝日新聞2011. 8. 4)。

「頂きます」「ごちそうさま」「ありがとう」は、相手に対する感謝であり、それが、神への感謝に通じます。そんな感謝を何もかも金に換算できるのでしょうか。それが「できる」と思っているところに人生のうすっぺらさを感じます。

賃金を払ってバスを降りる時、運転手に「ありがとう」と伝えればいいのです。感謝は目減りしませんから。その反対にどんどん使えば、人生に深みが出てきます。

ある幼稚園の園長から聞いた話があります。園児が「『サンキュー』ってどんな意味か知ってる？」「知らない」ととぼけて答えた園長に園児が自信たっぷりに答えました。「一日に、39回『ありがとう』を言うことだよ！」。

さて、一日に39回、「ありがとう」が言えるかな？

宝塚教会 牧師 浦上結慈

ゲストスピーカーのプロフィール

神戸 YMCA 総主事 小澤昌甲
1967 生 (57才) 明石市
1986 年学関西学院大学在学中 YMCA ボランティアリーダーとしてキャンプ・野外活動・学童保育等に携わる。
1988 年タイ・ワークキャンプにかかわり社会教育活動の重要性を認識する。
1991 年 神戸 YMCA 入職
1999年 西神戸センター長・神戸 YMCA 学院・YMCA 保育園長を歴任
2022 年 神戸 YMCA 副総主事
2022 年11月 現職



8月第1例会報告

8月第1例会は、全国的に猛暑が続き、また九州地方から水害情報が届く中、阪神間にとっては恵みの雨模様の8/13(水)夜、西公民館ホールで開催された。7月にアソシエイト入会された垂水英治さんをスピーカーに迎え、「市民レベルの国際交流の大切さを思う」と題して貴重なお話を聞くことになった。出席者は、ワイズ11人、メネット・アソシエイトはZoom参加の喜多さんを含め6人、ゲスト2人の計19人。ゲストには一昨年までブリテンの聖書・随筆欄を執筆くださった福岡市在住の金田俊郎牧師と11月例会の卓話講師児玉宝謹氏を迎えた。卓話は垂水さんの神戸市役所在職中の体験をもとに「阪神・淡路大震災30年を振り返る」に始まり、退職後も1999年9月21日に台湾中部で発生した921大地震災害にも関心を持ち数度にわたる視察や支援活動の経験を「台湾震災25年と被災地交流を振り返る」として話され興味深く拝聴した。特に、我が国の災害復興が「物には物」という発想の公的な支援事業の展開が主流であるのに対して台湾の自主再建・民間主導を軸とする再建の姿から多くの示唆を与えられたという。その後、被災地交流から生まれた幾つかのエピソードを紹介された。それは、カトリック鷹取教会のペーパードームの台湾・桃米村への移設とそれに始まる台湾の被災地再開発の経緯、大地震後に住民が協力して生態系の保全と再生に取り組み、生態観光と自然教育の拠点として発展した桃米生態村の実情、氏が交流過程で接した歯医者が始めたという「ニーブン合唱団」の台湾の多様な文化の保存や活動、東北大震災で被災した石巻市の高等学校との交流、コミュニティーギャラリーの開設等々。ご本人はこれらの活動を「独居老人の暴走」と可笑しく形容されたが、現役時代の重責から解放され国際交流の中に第二の人生を心の赴くままに生きようとされる姿を見せてもらった。

この後、誕生日祝い、諸報告を行い散会した。

若林成幸



西宮市では、放課後の子供の自由な遊び場や学びの場を提供する「西宮市放課 キッズルーム(放課後キッズ)」という事業があります。学校施設等を活用した放課の居場所づくりとして、

神戸YMCAでは2022年から香櫨園小学校で受託し運営をしています。

夏休み期間中は8時半から17時まで開室し、毎日70人から100人ほどの子どもたちが遊びに来ています。

今年の夏も、神戸YMCA学院専門学校日本語学科の留学生が子どもたちと遊ぶボランティアとして、1週間遊びに来てくれました。バスケットボールやボードゲーム、コマなどで一緒に遊びました。お兄さんお姉さんが知らないゲームは、子どもたちが一生懸命遊び方を説明したり、コマがとても上手なお兄さんには回し方を教えてもらったりと楽しい時間を過ごしました。ミャンマーの文字を初めて知ったとき、子どもたちはみんな自分の名前をミャンマー文字で書いてもらい、さらにおうちの人の名前も書いてもらって、それを大事そうに家に持って帰っていました。

留学生に文化紹介など何か特別なことをしてもらおうのではなく、一緒に子どもたちと遊びながら過ごす中で、違いだけではなく、同じこともたくさんあるという気づきを子どもたちにしてもらいたいと思っています。

これからもYMCAこそできる取り組みを実施していきたいと思えます。

担当主事 橋本 唯



8月第2例会 議事要旨

日時 8月20日(水)午後5時30分～6時30分 場所 アンパス

出席 青柳、石田、岡野、岡野M、風早、金岡、嘉多、小林、小林M、郡家、武田、多胡、
長尾、福田、若林、若林M

議事要旨

1) 9月例会

スピーカー 神戸YMCA総主事 小澤 昌甲(オザワ マサキ)

プロフィール:別紙、演題:「神戸YMCAの今後の方針」、ドライバー:小林・真藤

2) 10月からのスピーカーに関して

10月 小谷 孝子…ベネズエラの危機 をしりとのこと、そちらを、絵で訴える
活動をしている画家

11月 児玉 宝謹(よしのり)氏…幸真會 二代目會主(和楽器奏者・日本民謡)

12月 合同クリスマス例会…未定(岡野ワイズが企画)

1月 桐畑 珠里氏…紙芝居サークルちょうちょ代表

2月 中山 光子氏…宝塚NPOセンター所長

3月 前原裕作氏…京都でコミュニテイキッチン経営

3) ファンドのタカラムネに関して

・7月に納入して袋詰めしたタカラムネに関して

7月19日に開催された西日本区大会ご苦勞様会に60袋寄付

8月1～3日に開催されたアジア大会でDBCクラブ(鹿児島、町田コスモス、京都

30袋と参加者への名刺がわりで30袋を宝塚クラブから

・タカラムネの今後の活用に関して

1)8月24日に広島I PLAY2025 公演のお土産…50袋(若林ワイズ)

2)紙芝居全国大会への寄贈…10月に宝塚で開催される大会へ200袋

3)神戸YMCAチャリティランへ…100袋

*袋詰め作業の予定日 8月21日(木)13:30～ 西公民館にて

4) 各部会・周年行事への参加

8月24日(日)大阪河内ワイズメンズクラブ 50周年(大阪 YMCA)…多胡・石田・

9月13日(土)京都部部会(ホテルオークラ京都)

9月14日(日)中西部部会(ホテルアベスタクランテ高槻)

9月27日(土)阪和部部会(大阪 YMCA)

10月4日(土)中部部会(とやま自遊館)

10月11日(土)九州部部会(ホテルメルパルク熊本)

11月8日(土)瀬戸山陰部部会(由志園)

11月15日(土)六甲部部会(ホテルクラウンパレス神戸)

*参加者登録は石田ワイズを窓口とする。

5) ファンドのジャガイモに関して

①販売価格 ジャガイモ 10KG 2600円(前年同額)、3種混合 10Kg 3600円(前年+200)

②スケジュール 予約締切 9/6、入荷・積み下ろし 10/11(土) その他詳細はブリテン9月号で

6) 市民クリスマス O'Ne Christmasu に関して

開催日:12月13日(土)午後2時から 場所:宝塚ベガ・ホール

7) 9月号 ブリテン投稿分担

第1・第2例会報告(若林)、アジア大会報告(多胡・石田・岡野・長尾で分担 各300字以内)

六甲部CS委員会 金岡、IPRAY(福山クラブ上久保氏・若林)、ジャガイモ(郡家)、YMCA(橋本)

誕生日エッセー(石田・橋本・清水・福田宏子)、地域団体(障害者スポーツ協会、壁がなければ)

8) その他、

・余島キャンプ感謝礼拝参加者 多胡

・西日本区大会会計からのTシャツ代返金@2000×人数のファンドへの繰り入れを承認 以上

10月卓話、小谷孝子氏は健康上の理由で延期。

2月予定の中山光子氏に変更する。

第31回アジア・太平洋地域国際大会 熊本 2025

2025.8.1(金)～3(日) 熊本城ホール・ホテル日航熊本

8月1日に福田宏子ワイズと伊丹空港から熊本へ。2年前に開催された西日本区大会の会場だったために迷うことなく会場に到着。登録を済ませて、各所から集まってきた顔見知りのワイズに挨拶を次々と。今回は世界各地18ヵ国から総勢583人の参加。会の進行は英語でとのこと。同時通訳機の貸し出しもされたが、今回はその貸し出しも受けず臨んだ。

3日間の大会中にとっても印象に残ったプログラムの一つはやはり長年取り組んでこられた京都パレスクラブの大野嘉宏ワイズによる「ラオスにYMCA設立」に関わる経過報告を兼ねた基調講演だった。ラオスという国の歴史的にキリスト教への偏見を理解しながらも諦めるのではなくメンバーはもちろんのこと、YMCA、一般市民、そして両国の行政などへ丁寧な取り組みの説明と実行力が大きな信頼を得る行動となり実を結んで今日に至り、あと一歩とまで漕ぎ着けられたとのこと。とても感動を覚えながら聞かせていただいた。

二日目にはエクスカッション。福田ワイズと阿蘇巡りツアーに参加。バスが阿蘇山へ登って行く途中では羊、牛などが大草原でのんびりと草を食べている放牧を楽しみ、雄大な阿蘇の大自然を満喫しながら頂上へと。観光客のための乗馬用の馬が何頭も。お天気に恵まれ青空と緑の大地。大自然の恵みをたっぷり味わえた素晴らしいツアーでした。

多胡 葉子



素晴らしい第31回アジア地域大会でした。今回は親しくしている熊本むさしクラブの田上 正ワイズがアジア太平洋地域会長に就任の応援、エクスカッション5ワイズミュージックコーナーで西日本区大会でデビューした男性フラチームのウクレレ伴奏の為でした。

楽しいアジア太平洋地域大会でした。

長尾 亘



アジア太平洋地域大会マーシャル体験報告

マーシャルとしての地域大会、国際大会の経験は4回目になりました。今回は30数名で約540名の登録者への案内、サポートなどの業務を担当しました。地元九州部のワイズが一番多く、六甲部からは中道京子ワイズ、山田滋巳ワイズ、私の3人でした。

一番危惧したのはやはり異常な気温の高さでした。幸いな事に九州部はドクター、ナース等医療関係者が多く、今回地元医師会の協力で搬送可能な病院を事前にしっかり確保されていてマーシャルとしては安心な体制で臨めました。

1日目はFlag parade, 国際会長、アジア太平洋地域会長就任式など重要なセレモニーの後、京都パレスクラブの大野嘉宏ワイズによる基調講演が続きワイズメンズクラブは国際的な組織であると再認識した時間でした。

2日目のエクスカッションにマーシャルは数名ずつバスによる4つのコースに同行、私は会場内でのワイズメンバーによるミュージックフェスのコースに参加しました。芸達者なメンバー達は楽器演奏、ボーカル、そして西日本区大会前夜祭でデビューした鶴丹谷剛直前理事を中心とするアロハ・ロコ・ボーイズもノリノリ！

3日目プログラム最後の閉会式ではマーシャル全員がステージに登壇、参加のワイズから大きな拍手を頂きました。いつもながらマーシャルにとって一番嬉しい場面です。マーシャルとしての参加は交流の楽しさを倍以上に味わえる貴重でお得な経験だと今回も感謝しながら3日間でした。

石田 由美子

各委員会報告

きらり輝くアート展

8/30 六甲部 CS 委員会において、今年度の六甲部、地域奉仕・環境事業の取り組みとして主題のアート展を下記のスケジュールで開催することに決定しました。

開催日：2026年3月27日(金)～29日(日)

場所：「原田の森ギャラリー」

(兵庫県立美術館王子分館)

講演会も同上会場にて開催

3月29日(日)13:00～

尚、講師の確定・出展作品グループ数・告知チラシ等については来月の検討会にて詳細に詰めていきます。

金岡幸弘

ジャガイモファンド

年に一度のじゃがいもファンドの時期が参りましたので、現時点の確認報告を致します。

〇 仕入れ値 じゃがいも 10kg¥1,188

3種 10kg¥2,268 (プラス運賃680円/箱)

〇 販売価格 じゃがいも 10kg¥2,600

3種 詰合せ 10kg¥3,600

個別宅配便利用の場合の送料、近畿圏¥770+α 関東圏¥842+α (α=折衝中)

〇 申し込み締切日 9月6日(土)

〇 荷降ろし作業日 10月11日(土)時間未定

〇 場所 若林宅ガレージ

* 宅配運賃は交渉中。決まり次第、連絡致します。

申込期間が短いですが、前回同様皆様のご協力を賜り、320箱の販売、22万円以上の利益を確保したいと思っております。荷降ろし作業日当日ヘルプもご協力よろしくお願いたします。荷物引取りや宅配申し込みも速やかに終えるためご協力よろしくお願いたします。

郡家 学

みんなで作る One Christmas

市民クリスマス準備の時期となりました。今年は、ダカーポと合唱団にポップンリンガーズを交えて「カノン」のコラボ演奏に挑戦します。楽しい楽曲をそろえたので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

12月13日(土)14時 開演

宝塚ベガホール

～練習会～

10～12月 毎週金曜日 18時～20時30分

10月 3日, 10日, 17日, 24日, 31日

11月 7日, 21日, 28日,

12月 5日, 12日,

市民クリスマス実行委員会



大阪河内ワイズメンズクラブ50周年記念祝会

8月24日(日)午前11時30分～ 大阪河内クラブ50周年記念祝会が大阪YMCAホールで開催され、118人が西日本区から参加(六甲部は宝塚からは石田、多胡、西宮の小野ワイズの3人)

第一部が11時30分から中西伸子、正野忠之ワイズの司会で、横田憲子会長の開会点鐘で始まり、来賓の挨拶が次々と。まず最初に挨拶をされた東大阪市の野田義和市長の挨拶はワイズ活動を十分に理解されているなど感じるスピーチ、大阪河内クラブが地域に溶け込んだ活動を展開されてきたと感じた。

基調講演は大阪YMCA会長、関西学院大学教育学部の岩坂二規准教授から「シティズンシップを育む'Y' コミュニティの可能性」と題して、YMCA、ワイズメンズクラブが地域で活動することの意義を教育、社会学の視点から説明されとても興味のある内容だった

第二部は楽しいひととき、美味しい昼食とフルートとバイオリンの演奏に耳を傾け楽しみながら、テーブルの方々と会話も弾み、大阪西クラブの小淵直一ワイズは9月の宝塚クラブの例会に参加します、と。楽しい交流のひとときはあっという間に終わり、それぞれが、河内クラブのこれからの50年に向けてのクラブ活動にエールの思いを持って散会となった。

多胡 葉子

被爆 80 周年・創立 30 周年 I PRAY 2025 ～集い考える平和の祭典 Peace Action Hiroshima～

木原世宥子さん(福山クラブ)プロデュースの「被爆 80 周年・I PRAY 創立 30 周年記念公演～集い考える平和の祭典～」が 8/23・24 の 2 日にわたって広島アステールプラザ大ホールで開催されました。プログラム前半は、広島手話劇団による戦争体験劇、千田小学校児童の被爆樹木から作られたパンフルートの演奏と合唱、広島女学院高等学部放送部による朗読劇、平和のためのヒロシマ通訳者代表 小倉桂子氏(88 歳)の平和運動の実践活動紹介と小倉氏と高校生たちとのパネルディスカッションが行われました。高校生は宗徳高等学校新聞部の部員と広島女学院高等学校署名活動サークルの面々でした。そして最後に市民の心を象徴するように I PRAY2025 が幕を開けました。舞台設備の整ったホールで歌唱・演技にも熱が入っていたし照明・音響効果にも優れ、暗黒と化した被爆場面から徐々に立ち上がり「鳥のように飛べたら」の大合唱へと展開して行く場面では胸が熱くなりました。

また、ロビーでは平和運動を展開する高校生の展示がありました。崇徳高等学校新聞部は G7 広島サミットや ICAN のノーベル平和賞受賞などの取材記事を当時発行した新聞で。広島市立基町高校創造表現コースの生徒は、かつて弓狩匡純氏の著作「平和のバトン」で話題となった「原爆の絵」～被爆者の証言に基づく被爆の実相を伝える絵画～から今年完成した 15 点の内数点を展示。

これらの一連のパフォーマンスから、「ヒロシマの心」は世代を超えて広島市民に脈々と受け継がれている様子を見聞きし、この流れが点から線へ、線から面へ、面から立体へと広げてゆこうとする強い願いが感じられました。

若林成幸

広島は被爆80年を迎えました。広島市並びに広島市教育委員会は私たちの平和への使命観や30年間という長年の実践活動を評価し、今年『広島市被爆80周年記念事業』の1つとして「共催」で開催する形となりました。大変光栄であり、喜びでもあります。

原子爆弾の投下から80年、今もなお被爆の後遺症に苦しまれる方々の高齢化が進み、被爆者の平均年齢は86歳を超えました。被爆の実相や悲惨な体験の継承が困難になってきています。一方、次世代の若者たちはそのことに目覚め、今動き始めているのを感じます。今回は I PRAY の単独公演から企画を膨らませ、『集う考える平和の祭典』として、若者を中心に集い、歌や演劇、踊り、楽器の演奏、討論・展示・絵画等の幅広い表現方法で「平和」を発信する形を導入しました。もちろん被爆体験や次世代への伝承講話を聴く時間も設けました。まさに、「知る」・「考える」・「行動する」体験学習です。

今や第3次世界大戦がはじまってもおかしくないほど、緊迫した世界情勢です。「戦争」は、一部の支配者のエゴにより、家も物も破壊し、大切な家族を引き裂き、命をも奪うという、人間の幸せも平和もすべてを奪っていきます。「核兵器」の使用は、地球市民である私達人類を滅亡させ、地球全体を破壊・破滅させることを意味します。絶対に許してはなりません。希望と可能性をもって Never Give Up、「戦争も核兵器もない、暴力も差別もない幸せで平和な世界」をめざしましょう。

私たちのこの種蒔きが、将来に必ずや実りをもたらすものと信じています。新たな出発点に立ちました。点と点が線となり、線と線が面となり、面と面がつながって平和の立体が形成されますことを共に祈りながら。

ご支援ご協力をいただきました宝塚クラブの皆様から感謝を申し上げます。

I PRAY 理事長 上久保昭二 (福山クラブ)



レッツチャレンジ・パラスポーツ

～さまざまなパラスポーツを一度に体験～



第4回すべての人の作品展ぶらす

～すべては等しく存在する～

無審査・無賞・無料・対象不問の自由出品による公募作品展示開催が無事に4年目を迎えることになりました。

「すべての人が対等に主役である」様式を問わない公募展では、日常生活では閉鎖的空間に引きこもりがち押し込められがちな高齢の方や障がいのある方も、一般の方と分け隔てなく参加できます。そこでは、すべての作品が、作者の資質も属する階層もなく、一線上に並びます。このような試みは、お互いが多様な価値観を認め合い、すべての人は平等な社会の成員であるという意識を日常生活の中にも根付かせることに繋がると考えています。

作品ご出展、作品展ご鑑賞、展示会場運営のお手伝い、ご寄付など、皆様のご参加とご支援を心よりお待ち申し上げます。

壁がなければ実行委員会 山田早弓



日時: 2025(令和7)年9月13日(土)
10:00~12:00(受付9:30~)
場所: 宝塚市立スポーツセンター
総合体育館メインアリーナ
 申し込みはいりません。
 直接会場にお越しください。
 (動きやすい服装で、
 壁内用靴と水分をお持ち下さい)
 お問い合わせ:
 宝塚市障害者スポーツ協会
 (井上携帯: 090-3709-1939)

六甲部部会のご案内

2025年11月15日(土)

場所 ホテルクラウンパレス神戸

会費 12000円

13:00 受付開始

13:30 EMCシンポジウム

14:30 六甲部部会

15:30 特別講演「いつまでも健やかに自分らしく
～チェアエクササイズでフレイル予防～」

竹尾好恵氏(一億人元気運動協会 会長)

16:30 懇親会

18:30 終了

ご苦労さん会

8/20 第2例会に続いて長尾直前会長を囲んでご苦労さん会が開催された。おいしいイタリアンを食べ、楽しい会話がはずみました。



お誕生日一言エッセーコーナー

マイバースデーは9月1日、小学生の時は始業式から帰ってから宿題と戦いました。苦痛と罪悪感共存の楽しい日。

9.1 石田 由美子

某番組のチョコちゃんが「大人になると時が短く感じるのはトキメキが無くなるから」と。まだまだトキメキを大事にするぞ!

9.15 橋本 唯

「わがまち宝塚」でも行ったことのない宝塚もまだまだあるように思えますが? あなたは来宝された外国の人や他都市の人に、宝塚の良さをどのように伝えますか? 10月に400人が各地から来られます。

9.16 清水栄治

これまでの健康に感謝、感謝。これからは可能な限り何事にも挑戦したい…。

9.29 福田宏子